

## 全英連全国高等学校英語スピーチコンテスト審査について

### ● 時間の過不足の際の減点について

1. スピーチの時間 : 4分30秒～5分30秒
2. 上記に関し、過不足が出た場合、以下の減点になります。  
4分30秒に満たない場合、または5分30秒を超えた場合の減点：  
0 ～ 15秒（15秒を含む）の過不足はマイナス5点  
15 ～ 30秒（30秒を含む）の過不足はマイナス10点  
30秒を超えた過不足はマイナス15点

(附則)

- ・ マイナス点は各審査員がつけた得点（第1部100点満点、第2部120満点）から減点されます。
- ・ 時間の過不足の減点后、審査委員ごとに出場者の順位を出します。
- ・ 各審査委員の出した順位を集計し、合計の値が少ない参加者から1位、2位・・・になります。
- ・ 数値の結果をもとに審査委員で協議し最終順位を確定します。

### ● 第2部スピーチ後の Questions and Answers について

1. 第2部（参加資格に制限なし）において、スピーチ後に Questions & Answers を行います。
2. Questions & Answers (interaction)のねらいは、やりとり(interaction)です。自分の行ったスピーチについて、質問者 (questioner)からの質問に対し、わかりやすく丁寧に自分の言葉で答えることが求められます。
3. Questions & Answers (interaction)の審査は、質疑応答のやりとりを前提に、質問者 (questioner)からの質問に対して、その主旨をきちんと理解し、積極的に応答をしているかどうか、「話す意欲」(willingness to communicate)の観点から行われます。

(附則)

- ・ 質疑応答の時間は、最大2分程度です。
- ・ 質問内容が理解できず聞き返すことは、やりとりとしてあり得るので、減点の対象とはなりません。